

徹底したJVC高音質化技術のクオリティ

失われた音域を復元し、原音に近づける。
New「K2テクノロジー」搭載。

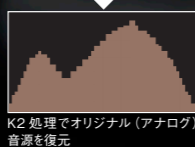
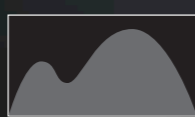
「K2テクノロジー」はJVC独自の高音質化技術。アナログ音源をデジタル音源に変換・圧縮する際、どうしても失われてしまう音楽情報を再生成し、原音に極めて忠実な高音質で再生します。「SU-AX7」には、この高音質化技術をさらに進化させたNew「K2テクノロジー」を搭載しています。

非ハイレゾ音源をハイレゾ化。
ハイレゾ音源も、より高音質化。

New「K2テクノロジー」は、入力されたデジタル信号に対しK2処理（ビット拡張・帯域拡張・波形補正）を行い、非ハイレゾ音源をハイレゾ化して、マスター音源のクオリティに近づけます。ハイレゾ音源にも同様の処理を行い、より高音質化して、原音を持つニュアンスや空気感を繊細に表現します。

アナログにも妥協のない独立回路設計で
高音質アナログ専用モード採用

内部設計にはデジタル部とアナログ部、電源部に分離した綿密な回路レイアウトを採用し、ノイズの少ない高音質サウンドを実現しています。アナログ入力時はデジタル系の回路をスリープさせ、アナログ専用ボリューム経路でアンプにダイレクトに接続します。



「SU-AX7」は、カバンに入れて持ち運べるコンパクトサイズ。通勤・通学時や移動時など、スマートフォンやヘッドホンと一緒に持ち歩けば、いつでもどこでも贅沢な音響空間が堪能できる。

一度聴いたら、もう戻れない。 毎日の音楽が生まれ変わる贅沢空間。

原音探究——確かな技術で定評のあるJVCブランドから、あらゆるリスナーのニーズに対応するポータブルヘッドホンアンプが誕生。

JVC
ポータブルヘッドホンアンプ
SU-AX7



オーディオ事業部 商品企画部
野口敏史さん

細部へのこだわり JVC ハイクオリティがここに

開発にあたり、技術的な要素はもちろんのこと本体デザインについても据え置きの高級アンプの要素を盛り込もうと、特にツマミの操作感には大変こだわりました。天面にも縦に筋を入れたヘアラインで高級感を演出しています。また、鞆の中でも収まりが良いよう、接続端子を前面に配置しました。New「K2テクノロジー」技術で圧縮音源も手軽に高音質化できるので、特にバンド音楽やクラシックなどを聴くとその魅力がよりわかると思います。高級アンプが使われるような音にこだわりを持つ方にも納得いただける逸品に仕上げました。



JVCは、ハイレゾ音源の持つクオリティを再現できる高音質オーディオ機器にこのマークを持っています。

型名	SU-AX7
外形寸法	75.2×25×140.2 (mm)
質量	280g
価格 (実勢価格)	オープン価格 (60,000円前後)



●詳しくは、<http://www3.jvckenwood.com/accessory/su-ax7/>



木の振動板採用
ハイレゾ対応モデル

型名	HA-FX850	HA-FX750	HA-FX650
ドライバーユニット	口径 11mm ウッドドームユニット	口径 10mm ウッドドームユニット	口径 8.5mm ウッドドームユニット
価格 (実勢価格)	オープン価格 (40,000円前後)	オープン価格 (30,000円前後)	オープン価格 (20,000円前後)

●詳しくは、<http://www3.jvckenwood.com/accessory/wood/>

のような臨場感に、誰もが驚くはずだ。インドアでもアウトドアでも、豊かな音場空間が堪能でき、持つだけでステータスが上がるような高揚感をも味わえる。大型アンプの性能がこれほどまでコンパクトなボディに凝縮された、いわば魔法の箱。そこには歴史あるオーディオメーカーのノウハウが詰まっている。

さらには、JVCのハイレゾ対応イヤホン「WOODシリーズ」と組み合わせるとより贅沢な空間を体感して欲しい。一度味わったら、もう二度と戻れなくなる。

コンパクトなボディに優れた音響技術が凝縮

お気に入りのアーティストの音楽を目の前で楽しめたら、どんなに贅沢なことだろう。その空間を実現するのがJVC(ビクター)から誕生したポータブルヘッドホンアンプ「SU-AX7」。原音の響きからその空気感までも表現する逸品だ。

アンプというところが大きなイメージがあるが、ポータブルヘッドホンアンプは、その名の通り持ち運び可能。自宅でももちろん、手持ちのプレーヤーと接続すれば通勤時にバッグに入れて移動できる。見た目がスタイリッシュなうえ、USBとヘッドホン出力を前面に配置し、使い勝手の良さも重視。また、オーディオマニアのみならず、思わず音質にこだわりたくなるのが、JVC独自の高音質化技術、New「K2テクノロジー」で聴く音だ。様々な音源をマスター音源に近づけてくれる優れたもの。再生機器を選ばず、iPhoneをはじめポータブルプレーヤーから自宅のオーディオまで接続可能だ。

高性能のイヤホンさえあれば十分に高音質が楽しめる、という人もいるだろう。そんな人こそぜひ試して欲しい。楽器の音ひとつひとつが耳に入ってくる感覚、原音がそこに在るか